

世界遺産アカデミー認定講師 File No.51

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第51回目は、本業のかたわら世界遺産検定に挑戦し続け、紆余曲折を経て、マイスターを取得し、今年2024年5月にWHA認定講師になられた、神奈川県在住の西尾勝宏さんです。西尾さんは、横須賀市のコミュニティFMブルー湘南で世界遺産と横須賀市を繋げる情報を発信していたり、仲間内で相互学習コミュニティ「password」というグループを立ち上げ、イベント企画や勉強会を実施したりと、その活動は多岐にわたります。今回は、そんな西尾さんに、世界遺産と横須賀市への情熱を語っていただきました。

——衝撃的だった石仏破壊

初めて世界遺産を知ったきっかけは、巨大な「石仏」が破壊されたことを報じる国際紛争のニュースでした。後に、それはアフガニスタンの「パミヤン渓谷」だと知ったのですが、タリバン政権に爆撃された石仏の映像は衝撃的でした。皮肉にも、彼らの破壊行為が、もっと世界情勢を知るべきだと、私を突き動かしたのです。自分が育った横須賀という街は、パリー来航で知られる開国の地。にもかかわらず、自分は横須賀の歴史も文化も知らない。もっと自分の足元を見据えて、色々な知識を得ていくべきではないか。そう考えていたところに世界遺産検定を知り、学び始めました。



“すかっこ”西尾勝宏さん

さっそく4級と3級を併願で申し込みました。公式問題集を解いてみると良い感触でしたので、2級も追加して、4、3、2と3階級を同時に受験しました。3階級とも同じ受験会場で時間帯が分かれていたのも幸いしました。4級にはお父さんと一緒に受験する小学生や、2級には学生や若手社会人と、1日で3回も受けると、色々な世代の方々を見かけて、年齢幅があって面白く感じました。一気に3階級を合格。ところが、1級では躓き、なかなか合格できませんでした。諦めそうになりましたが、「なぜ1級に合格できないのか」を考えると、世界史を勉強してこなかったため、そもそもその知見に乏しかったのです。その同時期に、WHA主催の「大使館セミナー」で、世界遺産検定を勉強している方、既にマイスターの方、1級合格を目指している方々と交流できました。私は世界遺産検定を受けている方々と初めてお会いすることができたのです。具体的な学習方法や世界遺産の旅行話を聴くこともできました。情報交換し、ともに勉強し合える同志もできました。そして、1級の受験会場では、その仲間たちと同じ教室会場になり、受験後に答え合わせをしてみたところ、なんと3人とも同じ問題で間違えていました(苦笑)。「百舌鳥・古市古墳群の構成資産ではないものは、どれか」という問題でした。検定日の前日に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されたばかりで、まさか出ないだろうと思っていた



世界遺産講座

ので、不意を突かれました。同じ失敗を経験し、絆が深まりました。マイスター取得後はその仲間たちと一緒に「password」というグループを作り、今も勉強を続けています。そんな出逢いがあることも、世界遺産を学ぶ魅力だと思います。

——旅は一期一会、その時を記録に留めたい

世界遺産を学ぶようになってからは、どこへ行くにも、事前に計画をしっかりと立てます。出発、経路、到着、滞在時間といったタイムスケジュール、訪問地の概要や特産物・お土産物なども全部調べてパッケージとして仕上げ、シミュレーションしてから、旅行に出発します。なので、現地ですることは「確認」です(笑)。旅は一期一会ですので、行き当たりばったりではなく、確実性を求めたいのです。

訪れて良かった世界遺産は、『明治日本の産業遺産』の「軍艦島(端島炭鉱)」です。世界遺産検定1級に合格した2019年の夏に、妻と一緒に長崎県を周遊しました。出島や大浦天主堂も訪れましたが、メインは軍艦島クルーズでした。当初、台風接近の影響で大雨だったので中止かもしれないと思いましたが、進路が逸れて、クルーズ当日は天気回復。出航となりました。印象的だったのは、現地ガイドの方が「軍艦島の建造物をたくさん撮影して、写真をSNSに上げてください」と仰ったことです。我々が観ている景色は二度と見られない。写真に残された記録は、軍艦島の歴史として残されていく、そのために写真を撮ってほしい、のだと。島内は観光のための制限区画を舗装された道で進むので、建物内部や地下などには入れません。それでも、見上げるほどの高層マンションや建物の隙間から覗き見る内部の様子から、かつて活気づいていた街並みを想像できました。



軍艦島

また、『シュトルーヴェの測地弧』も、私にとっては、特別な世界遺産です。それは子午線を三角測量するための観測地点の集まりで、全265カ所中34カ所が、10カ国に跨るトランスバウンダリー・サイトとして登録されました。以前、建設会社に勤めていたのですが、私も実際に測量基準点を基準として測量を行っていたので、想い入れがあります。自分の日常的な業務や身近なことが世界遺産に認められて、スゴいな!と感心しました。

——世界遺産を知る立場から伝える立場へ

“異国情緒溢れる”と称される横浜、神戸、長崎と比べると、横須賀は異なった印象の港町です。軍港の街でしたので、鉄、セメント、金属の印象、硬さ、重厚感があります。開国の歴史という重みもあってカッチリとした堅牢な雰囲気を感じさせ

ます。気軽に足を運べるような観光地としての明るさ、華やかさには欠けるかもしれませんが、歴史や文化を知れば知るほど味わい深くなる街、それが横須賀です。神奈川県内の観光地としては、横浜が主流。あるいは、鎌倉、葉山へ向かい、横須賀は通り過ぎてしまう。最近はメディアでも横須賀が紹介されていますが、横浜には勝手なライバル意識もっています(笑)。

今年2024年12月に開局30周年を迎える横須賀市・三浦半島のコミュニティFMブルー湘南で、番組パーソナリティの石川和美さんとともに、昨年2023年4月から毎週日曜日の夕方放送の『世界遺産って何スカ?』を担当しています。時事ネタに絡めた内容の世界遺産を取り上げ、その魅力をご紹介します。第1回放送では横須賀市との繋がりが深い「富岡製糸場と絹産業遺産群」を、横須賀市の市制施行記念日の2月15日は、私にとって横須賀市の軍港の情景に重なる、スウェーデンの文化遺産「カールスクローナの軍港」を取り上げました。4月には番組1周年を記念して、友人でもある横須賀市出身のお城のスペシャリストやシンガーソングライターをゲストに招いて特別番組を放送し、世界遺産“愛”と横須賀“愛”を繋ぐことのできた回となりました。昨年2023年11月には、生放送の番組内で、対面での世界遺産講座を実施するというライブ放送も行いました。

これまででは、世界遺産を知る・学ぶ立場でしたが、これからはWHA認定講師かつ世界遺産検定マイスターとして、世界遺産の大切さを伝えていく立場です。ラジオ番組だけでなく、世界遺産の魅力とともに、横須賀の地元地域に密着した情報を発信していきたいです。今のところは“横須賀市で唯一のWHA認定講師”として、世界遺産講座やイベントにも率先して携わり、歴史深い開国の地であり軍港都市だった横須賀市の人たちに、歴史を重んじ、戦争と平和に向き合う世界遺産の理念を伝えたいです。これからも、世界平和を願いながら、年齢問わず子どもから大人まで、多くの方々に世界遺産の意義についてお伝えしていきたいと思っています。

ラジオ番組『世界遺産って何スカ?』

コミュニティFMブルー湘南(78.5MHz)
毎週日曜日17時台後半、絶賛放送中!!
<https://yokosukafm.com/>



番組収録スタジオにて、石川和美さんと西尾勝宏さん

password

<https://info5456939.wixsite.com/password/home>